

2. 火山の概況

(平成 18 年 3 月 3 日 ～ 平成 18 年 3 月 9 日)

【噴火が観測された火山】

- ▲ 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)] : ごく小規模な噴火は観測されたが、爆発的噴火等*は観測されなかった。

(*: 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定の規模以上の噴火を桜島の噴火の回数として計数している。)

- ▲ 諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)] : 3 日、5 日及び 7 日に小規模な爆発的噴火が多発し、それぞれ 1 日あたり 144 回、49 回及び 46 回観測された。

【活動が活発もしくはやや活発な状態である火山】

- 雌阿寒岳 [やや活発な状況] : 火山性地震のやや多い状態が続いている。
- 十勝岳 [やや活発な状況] : 噴煙活動が活発で、62-2 火口の高温状態が続いていると推定される。
- 樽前山 [やや活発な状況] : A 火口及び B 噴気孔群の高温状態が続いていると推定される。
- 浅間山 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動は引き続きやや活発で、火山ガスの放出量や火山性地震のやや多い状態が続いている。
- 三宅島 [やや活発な状況] : 多量の火山ガスの放出が続いている。
- 霧島山 (新燃岳) [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。
- 霧島山 (御鉢) [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火口縁を超える噴気が時折観測されており、火山活動はやや活発な状態が続いている。
- 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動のやや活発な状態が続いている。
- 口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。



図 1 今期間掲載した各火山の活動状況

注 1 本資料で示すレベルは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルである。

注 2 記号の意味

- ▲ : 噴火が観測された火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態である火山
- ◇ : 静穏な状態であるが観測データに変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山

①②等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

注 3 記事は、▲、● (注 2 参照) に該当する火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状態である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● 雌阿寒岳 【やや活発な状況】

火山性地震は、1日あたり3～14回と引き続きやや多い状態が続いている。火山性微動は観測されなかった。監視カメラ（火口の南南東約16kmに設置）による観測では、噴煙活動に特段の変化はなかった。

● 十勝岳 【やや活発な状況】

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね200mで推移した。噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

● 樽前山 【やや活発な状況】

今期間、A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱活動に大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。

● 浅間山 【やや活発な状況（レベル2）】

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。期間中、火映は観測されなかった。

7日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり300～700トンと前回（2月22日400～900トン）と同程度で、依然としてやや多い状態が続いている。

火山性地震はやや多い状態が続き、1日あたり33～73回で経過した。火山性微動は3日と6日に1回ずつ観測された。傾斜計およびGPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

● 三宅島 【やや活発な状況】

山頂火口からは白色噴煙がほぼ連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね300mで推移した。

6日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,000～3,100トンと、依然として多量の火山ガスの放出が続いている（前回3日1,600～2,800トン）。

8日に警視庁の協力を得て上空から行った観測では、山頂火口付近の状況に大きな変化はなかった。

火山性地震は、7日まで1日あたり6～17回と少ない状態で経過していたが、8日以降やや増加し、8日は48回、9日は57回であった。火山性微動は観測されなかった。

● 霧島山（新燃岳） 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。今期間はやや少ない状態で経過した（今期間13回、前期間50回）。火山性微動は観測されなかった。傾斜計及びGPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

● 霧島山（御鉢） 【やや活発な状況（レベル2）】

御鉢火口では火口縁を超える噴気が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態が続いている。7日に火口縁上100mまで上がる噴気が観測された。

期間中、火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。傾斜計及びGPSによる地殻変動観測でも特段の変化はなかった。

▲ 桜島 【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】

期間中、ごく小規模な噴火は観測されたが、爆発的噴火等¹⁾は観測されなかった（前期間は爆発的噴火を1回観測）。噴煙の最高は7日のごく小規模な噴火で観測された火口縁上800m（灰白色）であつ

た。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）で降灰は観測されなかった。

火山性地震はB型地震²⁾が一時的に増加し4日に56回観測された。火山性微動は観測されなかった。傾斜計及びGPSによる地殻変動観測でも特段の変化はなかった。

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定の規模以上の噴火を桜島の噴火の回数として計数している。
- 2) 火山性地震には、通常の構造性地震と同じようなP波やS波が明瞭で高周波の波動からなるA型地震と、P波やS波が不明瞭な低周波のB型地震がある。桜島のA型地震はマグマ等の貫入に伴い地殻が破壊されるために発生していると考えられ、B型地震はマグマ内の火山ガスの発泡等によって火道内で発生する地震とされている。

● 薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル2）】

噴煙活動は依然としてやや活発で、白色噴煙が硫黄岳火口から連続的に噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過した。

● 口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている（今期間53回、前期間46回）。火山性微動は少ない状態で経過した。期間中、監視カメラ（新岳の北西約4kmに設置）による観測では噴気等は認められなかった。

▲ 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

ほぼ連日噴火が観測された。3日、5日及び7日には小規模な爆発的噴火が多発し、それぞれ1日あたり144回、49回及び46回観測された（図2）。

十島村役場諏訪之瀬島出張所（以下、出張所）からの報告及び監視カメラ（御岳の北北東約25kmの中之島に設置）による観測では、火山灰を含む噴煙がほぼ連日観測され、4、5及び7日には火口縁上1,000m、8日には火口縁上1,200mまで上がった。出張所によると、集落（御岳の南南西約4km）で、3日及び7日に爆発音が聞こえ、3日及び5日には空振があり（3日はガラスがガタガタ揺れる程度）、4～7日には降灰があった。

噴火活動の活発化に伴い、期間の初めから8日まで、振幅のやや大きな火山性微動が断続的に観測された。火山性地震も3日及び5～7日に多発し、期間の発生回数は1,252回に達した（前期間は68回）

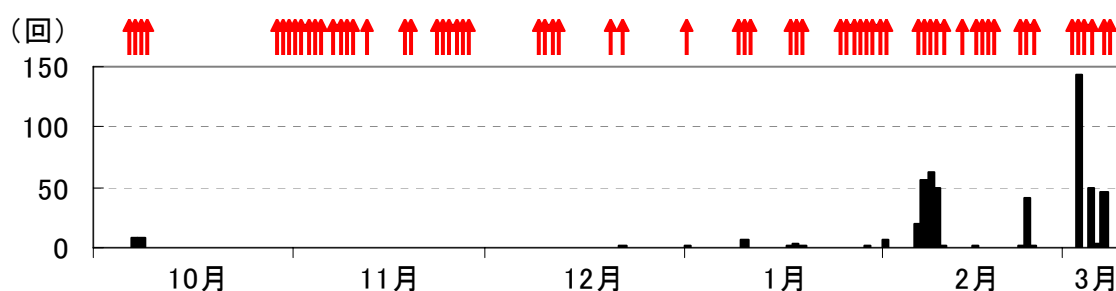


図2 諏訪之瀬島 爆発的噴火の日別発生回数及び噴火の発生状況
(2005年10月1日～2006年3月9日) 上段の↑は噴火の発生した日を示す。

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	吾妻山		草津白根山		浅間山		伊豆東部火山群	伊豆大島		三宅島	福徳岡ノ場	九重山		阿蘇山		雲仙岳		霧島山（新燃岳）		霧島山（御鉢）		桜島		薩摩硫黄島		口永良部島		諏訪之瀬島	
					記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		記号	レベル			記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
10	3/3-3/9	●	●	●		①		①	●	②			①	●			①		①		①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③
9	2/24-3/2	●	●	●		①		①	●	②	◇		①	●			①		①		①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③
8	2/17-2/23	●	●	●		①		①	●	②	◇		①	▲	●		①	◇	①		①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③
7	2/10-2/16		●	●		①		①	●	②			①	●			①		①		①	●	②	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③
6	2/3-2/9		●	●		①		①	●	②		◇	①	●			①		①		①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③

表 2 火山情報発表状況

火 山 名	情報の種類及び号数	発表日時	概 要
浅 間 山	火山観測情報第 9 号	3 日 16:00	2 月 24 日～3 月 3 日 15 時の活動状況。レベルは 2。
三 宅 島	火山観測情報 第 62～68 号 (1 日 1 回発表)	3 日～9 日 16:30	前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。
諏訪之瀬島	火山観測情報第 5 号	3 日 10:30	3 日 02 時頃から爆発的噴火が多発している。レベルは 3。